

一般質問

ンターを育てて行きたい部分において今の時期から考えていく必要があるのではないかと考えます。

質問 ICに連結する道路整備について伺います。

市長 梁川野手崎のまちの中の道路は、狭小であり急カーブなど危険箇所が多いことから、ICの供用開始による通過交通量の増加に対応するには、この地域の改良を急ぐ必要があります。館下地区内のバイパスを含む二次改良に重点をおいて市の統一要望として県に要望を重ねております。江刺区、水沢区の中心部へアクセスする一般県道玉里梁川線の重要性は増しております。今後も整備の必要性を県に対して働きかけてまいります。



完成が待たれる東北横断自動車道（江刺区内）

質問 ICを有効活用した地域づくりについて伺います。

市長 市の新たな玄関口が整備されることから、チャンスと捉え地域振興に結び付けたいと考えます。地区要望で、道の駅や産直施設を含めた地域交流施設の設置に対する要望を地元と相談、検討して国、県、関係団体の支援の要望をしてまいります。

質問 指定ごみ袋の選択制について

市長 指定ごみ袋の選択制については、2月18日の奥州市環境審議会において慎重に判断すべきであるという意見と反対意見が多かったと思います。私は選択制には反対ですが、市長は環境審議会での話し合い結果をどのように判断するのか伺います。

市長 選択制はごみの減量化を推進する形で行い、環境審議会の意見は重く受け止め、さらに理解いただけるよう検討します。

質問 財政的に苦しい奥州市では、ごみの有料化を考えなければなら



ちば まさふみ
千葉 正文



花と緑と潤いをもたらすオープンガーデン

ない時期が来ます。そのためにも現状の方式は変えるべきではないと思います。伺います。

市長 全国で約6割の市町村が実施しているごみの有料化は当市では考えていません。市全体でごみの減量化を進めてまいります。

質問 奥州市オープンガーデンのまちづくりは平成21年3月に計画が作成されてから、『オープンガーデンおもしろう』の会が中心となり進められてきました。地域づくりや観光客誘致などの観点から『奥州市オープンガーデンのまちづくり』の現状と今後について伺います。

市長 オープンガーデンのまちづくりは、公共花壇づくりと個人の

庭づくりの2本柱で進められてきました。今後とも、オープンガーデン奥州の会への支援を続け、オープンガーデンマップ、ホームページ等での情報発信を行い、行政と市民の共同でのまちづくりを進めてまいります。

質問 高齢者の孤独死と介護に係る自殺対策について

市長 今、奥州市では、孤独死や介護に係る自殺対策については、介護支援専門員や民生委員、児童



すがわら あきら
菅原 明